DIAMOND®

取扱説明書

ロックスプリッター

ＤＳ－２３０ＸＭ

目次

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・	１
油圧オイルの取り扱いについて・・・・・・・・	６
暖気運転について・・・・・・・・・・・・・・・	７
本製品使用上のご注意・・・・・・・・・・・・	８
各部の名称・仕様・用途・・・・・・・・・・・	１０
作業前点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・	１１
ご使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・	１２
割岩時のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・	１５
このような使用方法は禁止・・・・・・・・・・	１６
点検・保守・・・・・・・・・・・・・・・・・・	１７
カーボンブラシ・油圧オイルの補充方法・・・	１８

ご使用前に必ずお読みください

・このたびは株式会社 IKK ロックスプリッターをお買い上げいただき、ありがとうございました。

・ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管して下さい。

8ML403

⚠ 警告 ⚠ 注意 の区分について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」「⚠注意」に区分してあり、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告　誤った使用方法をした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性のある場合

⚠ 注意　誤った使用方法をした場合、作業者が障害を負う人身事故につながる恐れのある場合および、機械の破損・故障が発生する恐れのある場合

なお、「⚠注意」と記載された事項であっても、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、必ずお守りください。

安全上のご注意 一般的共通事項

・火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために安全上のご注意は必ず守ってください。
・ご使用前に安全上のご注意をすべて良く読み、理解したうえで正しくご使用ください。
・お読みになった後はお使いになられる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

⚠ 警　告

*誤った使用方法をした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。

◆この製品は、本取扱説明書で説明されている以外の用途には絶対にお使いにならないでください。

◆使用者以外近づけないでください。
・機械の使用者を特定し、取扱指導を受けてからお使いください。
・使用者以外の方が電動工具やコードに触れないようにしてください。

◆作業台・作業場所はいつもきれいに保ってください。
・散らかった場所は事故の原因となります。

◆保護メガネ・ヘルメット・ゴム底の安全靴をはいてください。
・ほこりが多く出る場合は防塵マスクと集塵機（集塵装置）を併用してください。

◆安定した場所・安定した姿勢で使用してください。
・無理な姿勢で作業せず、足元をしっかりさせてバランスを保ってください。

◆感電に注意してください。

・湿気はモーターの絶縁性を低下させ、感電事故の元になります。
・雨中、湿った場所、ぬれた場所、機械内部に水や油の入りやすい場所などでは使用しないでください。
・漏電遮断機を通した電源をご使用ください。二重絶縁品を除き必ず正しい接地（アース）を行ってください。
・電動工具を使用中、体をアースされているもの(パイプ・暖房器具・電子レンジ・冷蔵庫などの外枠など)に触れさせないでください。

◆きちんとした服装で作業してください。

・だぶだぶの衣服・ネックレスなどの装身具・ネクタイ・袖口の開いたもの、首に巻いたタオルや編手袋などは機械の回転部に巻き込まれる恐れがあります。

◆引火・爆発にご注意ください。

・電動工具は使用中やスイッチの開閉時に整流火花を発します。ラッカー・ペイント・ベンジン・シンナー・ガソリン・ガス・接着剤などの引火や爆発の恐れがある場所での使用は危険ですので絶対に使用しないでください。
・密閉された部屋、坑内などの換気の悪いところでの使用も避けてください。

◆コードを乱暴に扱わないでください。

・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜いたりしないでください。
・コードが高温の熱、油や薬品、刃物などとがったものに触れないように注意してください。

◆次の場合は電動工具のスイッチを切り、差し込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

・使用しない時、点検・整備・修理をする場合
・刃物類・消耗品・付属品の交換や掃除・点検・停電などの場合
・電動工具を移動させる場合や、使用者がその場から離れる場合

◆スパナやレンチなどは必ず取り外してください。

・電源を入れる前に、使用した工具類が取り外してあることを確認してください。

◆不意な始動にご注意ください。

・電源につないだ状態やスイッチに指をかけた状態で機械を動かさないでください。スイッチに指をかけていなくても移動中にスイッチが他の場所に引っかかって作動する場合があります。

・差し込みプラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

◆十分に注意して油断せずに作業を行ってください。

・安全に作業するために、無理な操作、能力以上の作業はしないでください。

・作業をする際は取扱方法、周りの状況などに常識を働かせ、十分に注意して作業を行ってください。

・高所での作業時には下に人がいないかもよく確かめてください。

・疲れている時、注意力が散漫な時は使用しないでください。

・差し込みプラグを差したままや、機械の電源を入れたままその場を離れないでください。

・使用中は刃物類や回転部分、切りくずに触れたり体の各部を近づけないでください。

◆損傷した部品がないかを使用前に点検してください。

・使用前にコードや保護部分に損傷がないかを十分点検し、正常に動作するか、所定の機能を発揮するかを確認してください。

・電源コンセントに差し込んだ時、ガタガタだったり、すぐ抜ける場合は使用を中止し、修理へ出してください。加熱して故障の原因となります。

・刃物および工具類は指定された純正部品を使用してください。また、刃物においては新品または新品同様で破損、欠陥のないものを使用してください。

・使用中に異常を感じたら直ちに使用をやめ、点検・修理を行ってください。

◆指定の純正部品をお使いください。

・当取扱説明書および弊社カタログなどに記載されている以外の付属品や消耗部品は事故やけがの原因になる恐れがありますので使用しないでください。

◆電動工具の修理は専門店に依頼してください。

・修理の際はお買い求めの販売店または株式会社 IKK にお申し付けください。

・ご自分で修理されますと、事故やけがの原因になります。

⚠ 注　意

*誤った使用方法をした場合、人身事故や機械の破損・故障が発生する可能性があります。

◆最大能力を超えた作業や急激な操作はしないでください。

・仕様欄にある本機の最大能力を確認してください。
・能力を超えた使用は機械の故障を招くだけでなく、大変危険です。
・急激な作業は機械の損傷や事故につながります。

◆電動工具は大切に取り扱ってください。

・誤って落としたり、ぶつけたりしますと外枠が変形したり、破損する場合があります。そのような時は必ず使用前に十分な点検を行ってください。

◆電動工具は次のような場所に保管してください。

・お子様の手が届かないところ、または錠のかかる不安定でない所
・温度や湿度の急変しない所
・直射日光や雨の当たらない、湿気のない、乾いた所
・引火または爆発の恐れがある揮発性物質の置いていない所

◆本体の風窓はふさがないでください。

・電動工具にある溝や風窓は電動工具の性能を発揮するうえで重要な働きをする部分です。ふさいだり、泥などが詰まったりしないようご注意ください。

◆指定以外の電圧で使用しないでください。

・正常な割岩ができなかったり、モーターが焼けるなど事故の原因となります。
・直流電流ではお使いにならないでください。
・指定電圧（100V）の上下10%以内でご使用ください。

◆延長コードの使用時は電圧低下にご注意ください。

・延長コードなどを用いた場合に、指定以上に電圧降下するときは、途中にパワーブースターを接続し、100Vにて使用してください。

・電源が離れていて、延長コードが必要な時は十分な太さのコードをできるだけ短くしてご使用ください。最高の能率で故障なくご使用いただくために、下記表にある使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを参照してください。

コードの太さ(導体公称断面積)	コードの最大長さ
1．25mm^2	10m
2．0mm^2	15m
3．5mm^2	30m

*コードに損傷がある場合には、修理に出してください。

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令および各都道府県などの条例で定める規則があります。周囲に迷惑をかけないよう各条例で定める騒音規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、遮音壁を設けて作業してください。

回　二重絶縁について

電流の流れる導体部分と人の触れる外枠部が、別の絶縁物で二重に絶縁された構造をもつ電動工具で、この製品には“回“マークを表示しております。二重絶縁モーターは、一つの絶縁部分が壊れても、もう一つの絶縁で保護されており、感電に対する安全性が高くなっております。ただし、壊れた状態で使用したり異なった部品と交換した場合、二重絶縁構造が損なわれ感電事故を招く恐れがありますので、お買い求めの販売店または株式会社IKKへ修理に出してください。

油圧オイルの取り扱いについて 一般的共通事項

⚠ 注　意

*誤った使用方法をした場合、人身事故や機械の破損・故障が発生する可能性があります。

油圧オイルの種類

株式会社IKKではモービル・ヌトーH46を純正品としております。

モービル・ヌトーH46は国際ISO補助粘度グレード46（VG46）に相当します。

純正オイルはお買い求めの販売店または株式会社IKKへご用命ください。

取扱方法

◆目にはいったり長時間皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。
・保護メガネや保護手袋を使用するなど対策を行い、取り扱いを行ってください。

◆使用しない時は容器のふたを締め、子供の手の届かない所に保管してください。

◆容器は内部に残留物(液体または蒸気)が残っているのでご注意ください。
・容器を熱・炎・スパークあるいはその他の発火源に近づけないでください。破裂することがあります。
・容器を加圧したり、切断、溶接、ろうづけ、はんだづけ、穴あけまたは、研削しないでください。爆発を伴って残留物が発火することがあります。

応急処置

◆飲み込むと下痢、嘔吐しますので絶対に飲まないでください。
・目に入った場合は、直ちに十分な水で洗浄し、医師の診断を受けてください。
・皮膚に触れた場合は、水と石けんで十分に洗ってください。
・飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに、直ちに医師の診断を受けてください。

保管方法

◆ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓してください。

◆直射日光を避け、暗所に保管してください。

廃 油 の 処 置

◆処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。

◆海、河川、湖、その他川付近及び排水溝に廃棄しないでください。火災の危険があるだけでなく、 環境汚染につながります。

◆ご不明な点がおありの場合は、購入された販売店におたずねください。

◆油圧オイルには火気を近付けないよう注意してください。

・運転中、または機体の温かい時は、オイルプラグを外さない。

・油圧オイルの補給は、本体が良く冷えてから行う。

・油圧オイルの補給は、周囲に可燃物のない場所を選び、こぼさない。こぼれた時はよく拭き取り、作業する時は、油圧オイルを補給した場所で行わない。

・油圧オイルの補給時や運転中はたばこを吸わない。

油 圧 オ イ ル の 特 徴

◆油圧オイルは高温になると粘度が落ち、低温になると粘度が高くなります。

・夏場での使用や、連続使用によって電動工具本体の温度がおよそ60℃を超えると油圧オイルの粘度が低下し、油圧力がダウンします。このような場合は一度作業を休んで本体を冷やし、再度使用してください。

暖 気 運 転 に つ い て

寒冷地における油圧オイルの特徴

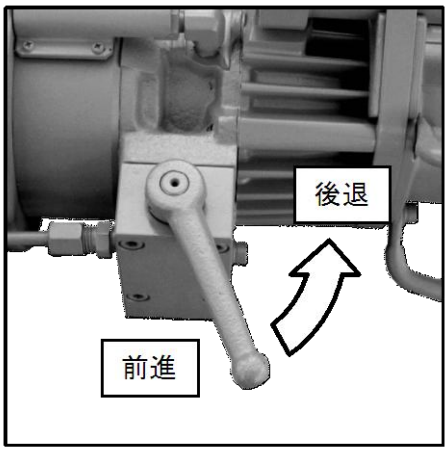
冬場や寒冷地では油圧オイルの粘度が過度に上がり動きが鈍くなる場合があり、このような場合は無負荷状態での運転で、油圧オイルを温める必要があります。

暖気運転の方法

本体を安定した状態にして、下穴などにカウンターウエッジを差し込まない無負荷状態でスイッチを入れます。この状態で30秒ほどモーターの起動を繰り返し、油圧オイルを温めてください。

⚠ 注 意

・スイッチを入れると、バルブレバーの向きによってウエッジが前進または後退します。完全にウエッジが前進（後退）した状態になると、モーター音が変わりますので、それ以上モーターを動かさないで下さい。



・前進しきった場合はバルブレバーを「後退」にし、後退しきった場合は、バルブレバーを「前進」に切り替えた上で、連続運転を30秒以内で暖気運転を行ってください。

本 製 品 の 使 用 上 の ご 注 意

先に電動工具としての一般的注意事項を述べましたが、これからご使用いただくロックスプリッターについてはさらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

*誤った使用方法をした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。

◆正しい用途で安全作業をしてください。

・本機は「コンクリートや転石を破壊する事」を目的とした電動工具です。
この用途以外にはご使用できません。

◆最大能力を超えた作業はしないでください。

・仕様欄にある本機の最大能力を超えた作業はしないでください。

◆使用中は工具本体を確実に保持してください。

◆使用中は可動部分に触れたり手や顔などを近づけないでください。

◆保護メガネ・ヘルメット・ゴム底の安全靴をはいてください。

・ほこりが多く出る場合は防塵マスクと集塵機（集塵装置）を併用してください。

◆スイッチが入る状態でその場を離れないでください。

・差し込みプラグを電源に接続した状態で、その場を離れないでください。

◆不安定な場所でのご使用は特に注意して下さい。

・破壊対象物が不安定な場所にある状態での割岩は、転籍となって周囲に被害を与えたり、作業者が転落したりする恐れがあります。
・必ず周囲の状況を確認して、作業を行ってください。

⚠ 注　意

*誤った使用方法をした場合、人身事故や機械の破損・故障が発生する可能性があります。

◆ウエッジや付属品は正規の位置に確実に取りつけてください。

・指定された純正部品で新品または新品同様の破損・欠陥の無いものを、指定された方法でとりつけてください。

◆カウンターウエッジは下穴に深く差し込んでください。

・下穴に深く差し込まないと、十分な力が伝わりません。

◆高所作業時は下に注意してください。

・高所での作業時は、下に人がいないことを良く確かめて作業してください。

◆異常が起きたらすぐ、運転を中止してください。

・機械の不調や異常に気がついた場合は、直ちに運転を止めてください。

◆油圧力が落ちたら、一度休んで本体を冷やしてください。

・本体の表面温度が60℃を超えると、油圧オイルの粘度が低下し、油圧力が低下します。夏場や連続使用時は特に高温になりやすいのでご注意ください。

◆冬場や寒冷地でご使用の際は、暖気運転をしてください。

・冬場や寒冷地では油圧オイルが固く、動きにくいことがありますので、使用前には無負荷状態での暖気運転を、30秒ほど行ってください。

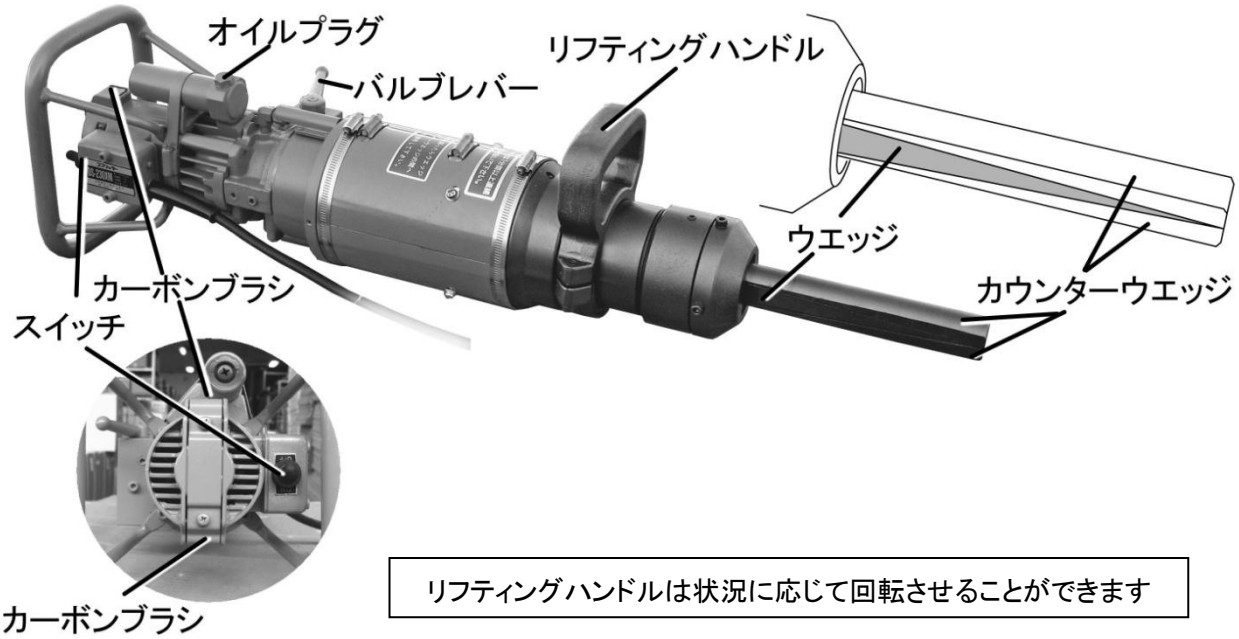
◆摩耗・破損・変形しているウエッジ、カウンターウエッジは使用しないでください。

・摩耗や変形には常に注意し、異常があった場合は直ちに使用を止めて下さい。

◆モーターは1分以上連続で作動させないで下さい。

・モーターの故障の原因となります。

各　部　の　名　称



リフティングハンドルは状況に応じて回転させることができます

仕　　様

型　　式	DS－230XM	標 準 付 属 品
割　岩　力	230t	工具セット
割　岩　幅	10mm	スパナ　17×19mm
ウエッジストローク	120mm	六角棒レンチ　4･5mm
ウエッジ全長/直径	210mm／38mm	オイルポット(油圧オイル70cc)
さく孔径/さく孔長	直径40mm／330mm以上	フェザー「A」「B」「C」
電　源　・　電　流	単相交流　100V　50／60Hz　11A　1050W	ディップスゲージ
外　形　寸　法	(L)260×(W)230×(H)930　mm	モリブデングリス
質　　量	31．0kg	木製収納ケース

用　　途

コンクリートや転石の破壊

作 業 前 点 検

次の1～6項については、差し込みプラグを電源に差し込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめてください。

指定電圧（100V）の上下10%以内で使用し、延長コードを用いて使用する場合は電圧の低下にご注意ください。

2. スイッチが切れていることを確かめてください。

不意な始動を防ぐため、スイッチをON側にして、放した時にスイッチが戻ることを確認してください（通常は手を離すと、自動的にOFFへ戻ります）。

3. 損傷した部品が無いかを点検してください。

コードや差し込みプラグ、スイッチといった電気部品、ウエッジ、カウンターウエッジに損傷した部分が無いかを点検して下さい。

4. 差し込みプラグ、電源コンセントを確認してください。

差し込みプラグを電源コンセントに差し込んだ時、ガタガタだったり、すぐ抜ける場合は使用を中止し、修理へ出してください。加熱して故障の原因となります。

5. ウエッジ、カウンターウエッジの間に異物が無いかを確認してください。

作業時にウエッジとカウンターウエッジの間に小石などの異物が挟まっていると、所定の能力を発揮できなくなったり、機械の破損を招く場合があります。

6. ウエッジに十分なグリスが塗布されている事を確認してください。

ウエッジとカウンタウエッジの間にモリブデングリスが塗布されている事を確認して下さい。グリスの塗布が不十分ですと、作業時にウエッジやカウンターウエッジに傷がついたり、破損する原因となります。

7. 試運転をしてください。

いきなり作業を行うのでなく、一度動かして正しく動作する事を確認してください。この時、異音・火花・動作不良などの機械の異常に気がついた場合には、直ちに運転を止め、点検・修理に出してください。

ご 使 用 方 法

1．下穴の作成

あらかじめ対象物に削岩機、電気ドリルなどでカウンターウエッジを差し込めるように下穴をあけてください。

直　　径	φ 40mm（φ 39～42mmの範囲内）
穴あけ深さ	330mm以上

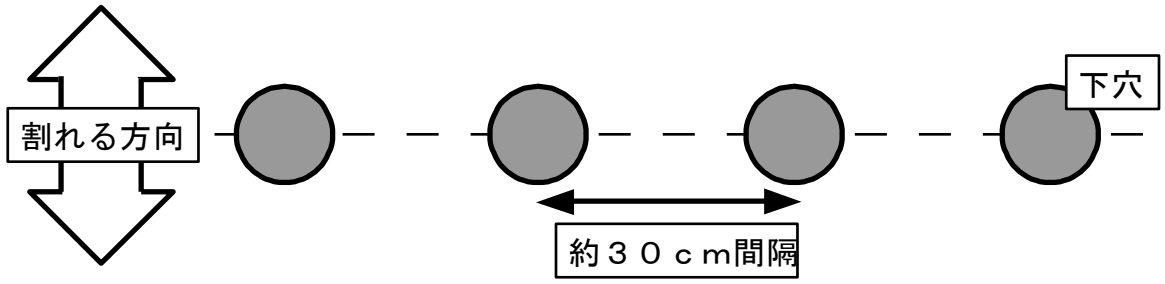
*穴あけ作業用に40mmのドリルビットを推奨します。

⚠注　意

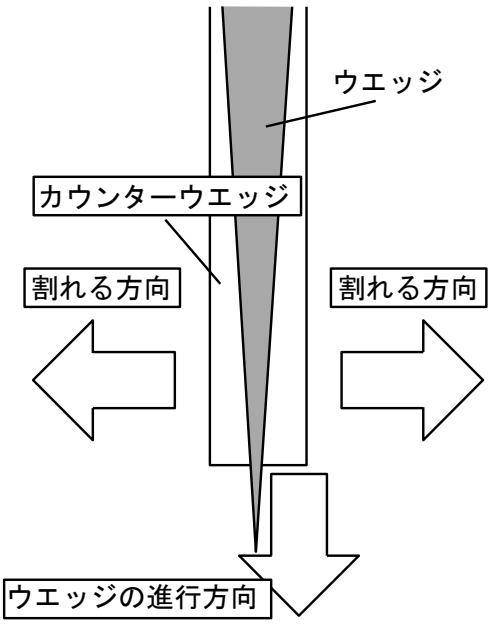
下穴はまっすぐに、十分な深さであけてください。穴が曲がりますと、カウンターウエッジが差し込めなかったり、深さが浅いと穴の底部にウエッジが接触し、破損する恐れがあります。

ヒント

対象物が大きな場合は、ライン状に下穴をあけて、順次作業を進めてください。下穴の間隔を約30cmとすると、割れやすくなります。



DS－230XMはウエッジのストロークの構造上、割れる方向をある程度定めて作業をすることができます。作業の際には対象物が転がったり倒れたりしないかを十分に確かめて、慎重に作業を行ってください。



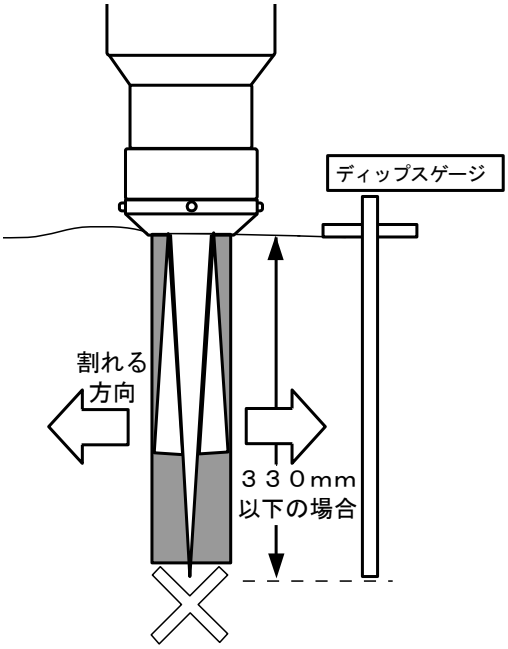
⚠警　告

岩や石には割れやすい方向（目）があるので、必ずその方向に割れるわけではありません。作業の結果思わぬ方向に割れる場合もありますので、必ず周囲の状況に注意して下さい。

2. ディップスゲージによる下穴の確認

下穴の穿孔が完了したら、付属のディップスゲージを差し込み深さを確認します。下穴の深さはウエッジが伸びきった長さより深く（330mm以上）必要です。

下穴が浅すぎるとウエッジが穴の底部に接触し、ウエッジを破損します。

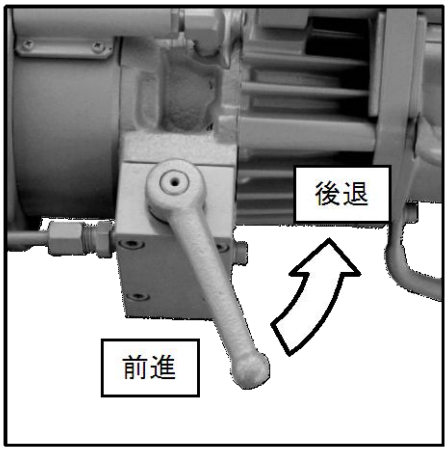


*ウエッジを破損します

3. 下穴へのカウンターウエッジの差し込み

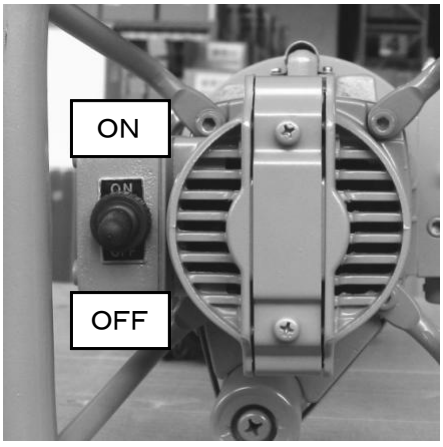
ウエッジが完全に引きこんでいる事を確認して、下穴にウエッジを差し込みます。

この時バルブレバーが「前進」の位置になっている事を確認します。



4. スイッチを入れる

スイッチを入れる（ON）とウエッジが前進を始めます。本機は自動復帰型スイッチの採用により、手を離すと自動的にスイッチが切れる仕組みになっていますので、ONにしたまま手を離すことはできません。



5. ウエッジの前進と、対象物の破壊

スイッチを入れ（ON）てから、約25秒で、ウエッジが全ストローク前進します。ウエッジが前進するにつれて対象物に亀裂が生じ、破壊されます。

（前進にかかる時間は負荷によって変動します。）

対象物に亀裂が入り破壊された時点、もしくはウエッジが先端まで出切ったところでスイッチを切り（OFF）、ウエッジの前進を止めてください。

⚠注　意

ウエッジが全ストローク前進すると、モーター音が大きなうなり音に変わり、回転数が落ちます。そのままモーターを回しますと、モーターやバルブレバーの内部機構を破損しますので、スイッチを切ってください。

6. バルブレバーの切り替えと、ウエッジの後退

バルブレバーを「後退」側に切り替え、再びスイッチを入れ（ON）ます。約20秒後ウエッジが完全に戻りきったらスイッチを切り、次の下穴へ移動させます。

⚠注　意

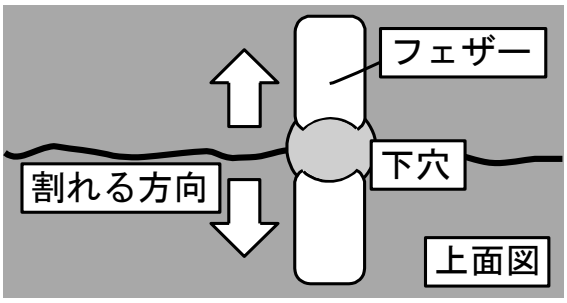
ウエッジが全ストローク後退すると、モーター音が大きなうなり音に変わり、回転数が落ちます。そのままモーターを回しますと、モーターやバルブレバーの内部機構を破損しますので、スイッチを切ってください。

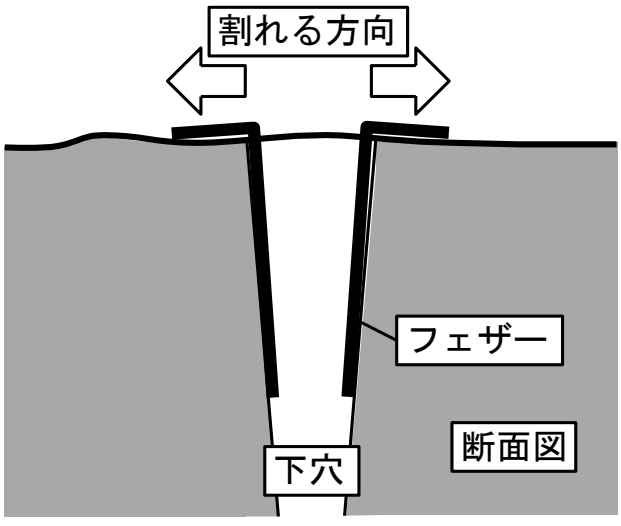
7. 破壊が不十分な場合はフェザーを使用する

一回の操作で対象物が破壊されない場合は、一度本体を下穴から抜き、フェザーを入れます。フェザーをセットしてから、再度操作をしてください。

フェザーをセットする際は、割れる方向に注意してセットします。

フェザーには「A」「B」「C」の各種類が用意してありますので、穴径に合わせて使い分けてください。





割　岩　時　の　ご　注　意

⚠注　意

破壊対象物が次のような場合は、十分な効果を得られません。

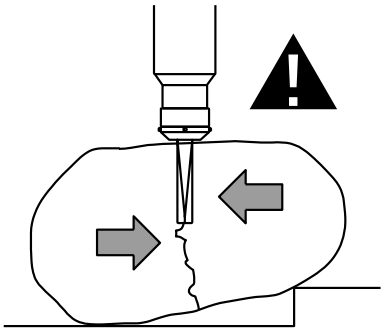
① 鉄筋コンクリート、もしくはモルタルなどのやわらかい対象物

② 土中に埋まり、一部分のみが露頭している石もしくは岩

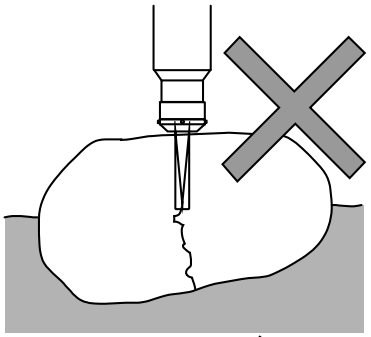
⚠警　告

破壊対象物が不安定な場所にある状態での割岩は大変危険です。
転石となって周囲に被害を与えたり、作業者が転落する恐れがあります。
必ず事前に周囲の状態を確認してください。

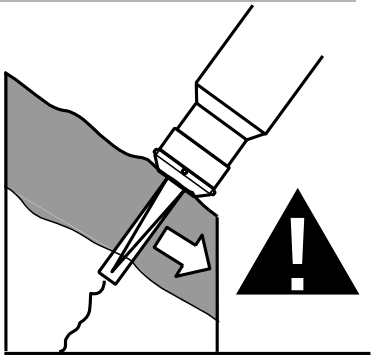
① 岩自体が不安定な状態である上に、割岩後にウエッジが両側の岩に挟まれて抜けなくなる場合があります。



② 岩石が土中に埋まっている場合、割ることができません。



③ 傾斜や層のある対象物を破壊する場合、対象物や、スプリッター本体がすべり落ちたりする場合があります。



⚠ モーターは 1 分間以上連続で作動させないで下さい

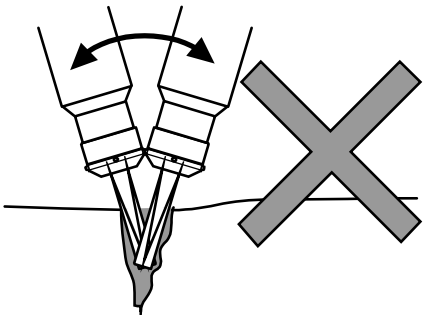
この様な使用方法は禁止

⚠警　告

次のような使用方法は機械本体の破損を招くばかりでなく、破損に気付かず操作した場合、重大な事故につながる恐れがあります。
下記のような使用方法は絶対に行わないで下さい。

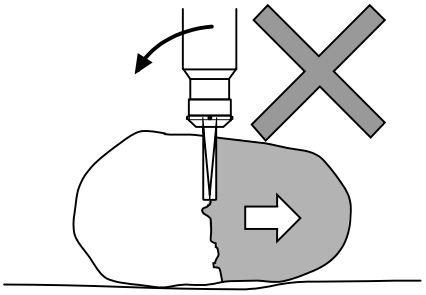
① 下穴をカウンターウエッジで広げること

あらかじめあけた下穴を、カウンターウエッジを差し込んだ状態で、機械本体を左右に動かして下穴を大きくしようとしたりすると、カウンターウエッジやウエッジが曲がり、使用できなくなります。

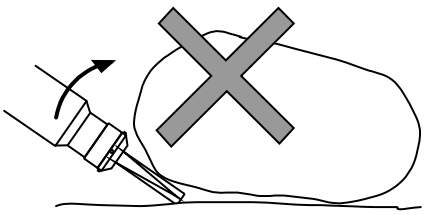


② てこのように使用したりして、対象物の移動に使う事

・割り終わった岩を除去する為にカウンターウエッジをてこのように使用する



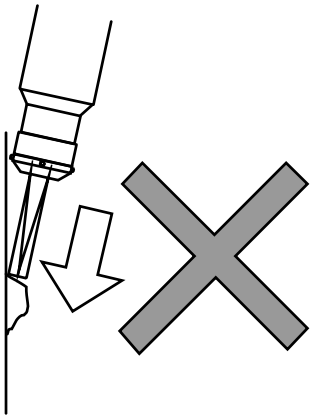
・対象物の向きをかえたり移動させる為にカウンターウエッジをてこのように使用する。



・ウエッジおよびカウンターウエッジをぶつけて対象物を破壊したり、凹凸部を除去する。

⚠注　意

ウエッジとカウンターウエッジに無理な力がかかる使用方法は、変形と故障の原因となります。



点 検 ・ 保 守

⚠ 警　告

・点検・保守を行う際は、必ず差し込みプラグを電源コンセントから抜いて下さい。

1. カウンターウエッジとウエッジの手入れ

カウンターウエッジとウエッジには、2回の割岩ごとに付属のモリブデングリスを塗布して下さい。使用後は必ずきれいに清掃し、石片などが挟まっていない事を確認して下さい。

マイナスドライバーなどで、カウンターウエッジとウエッジのすき間をあけて、ゴミなどを取り除いた後に、モリブデングリスをブラシなどで塗布して下さい。

2. 表面の汚れ清掃

本機の外枠に、ガソリン・シンナー・石油・灯油類を付着させると表面を痛めます。清掃の場合は、乾いた布、もしくは石けん水を付けた布などで拭いてください。

コードは油やグリースなどによって劣化しないように、表面の汚れを乾いた布などでふき取ってください。

3. 電動工具は次のような場所に保管してください。

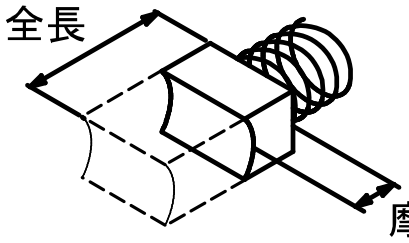
・お子様の手が届かないところ、または錠のかかる不安定でない所
・温度や湿度の急変しない所
・直射日光や雨の当たらない、湿気のない、乾いた所
・引火または爆発の恐れがある揮発性物質の置いていない所

4. カーボンブラシの点検・交換

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。

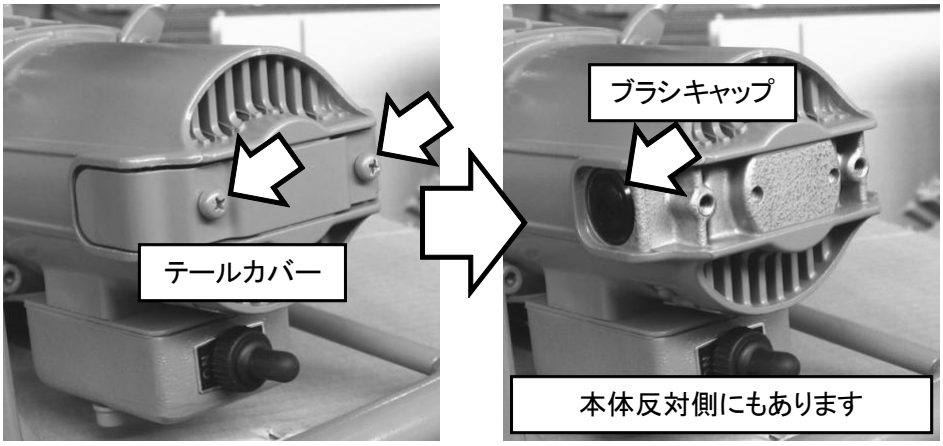
カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モーターの故障の原因になります。長さが摩耗限度(5～6mm)ぐらいになりましたら、新品と交換してください。また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由にすべるようにしてください。

カーボンブラシの交換



カーボンブラシの交換の際はセットで交換します。
カーボンブラシは弊社純正品をお使いください。

テールカバーを止めている2箇所のネジを外し、ブラシキャップをゆるめたのちに、カーボンブラシを取り出します。

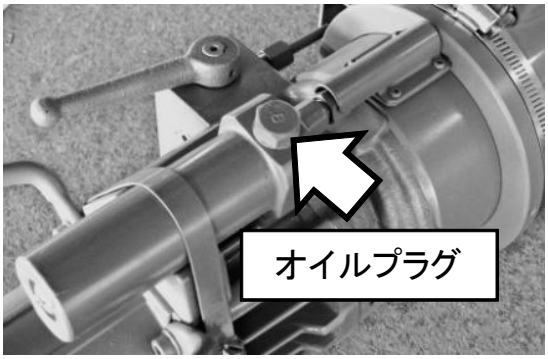


油 圧 オ イ ル の 補 充 方 法

（1） バルブレバーを「前進」にして、ウエッジを先端に達するまで前進させます。

（2） スイッチを切り、オイルプラグを外した後に少しづつ注油口いっぱいまでオイルを補充します。

（3） 油圧オイルの補充後は、オイルプラグを十分締めつけてください。



⚠ 注　意

油圧オイルの補充は本体・油圧オイルの冷えた状態で行ってください。

ご 修 理 の 際 は

IKK製品は、厳密な精度で製造されておりますが、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をなさらずにお買い求めの販売店または下記記載の株式会社 IKK 本社もしくは各営業所などにお申しつけください。
十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となりますので取扱説明書に記載されている以外の部品の取り付け・取り外しは行わないでください。

札 幌 営 業 所	〒003-0012　北海道札幌市白石区中央二条 6-4-18 TEL 011-865-6331　　FAX 011-865-6332
仙 台 営 業 所	〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 1-2-8 TEL 022-231-0170　　FAX 022-238-9181
東 京 営 業 所	〒110-0003　東京都台東区根岸 5-13-16 TEL 03-5824-3588　　FAX 03-5824-3580
横 浜 営 業 所	〒240-0002　神奈川県横浜市保土ヶ谷区宮田町 1-3-1 TEL 045-340-2257　　FAX 045-340-2259
名 古 屋 営 業 所	〒454-0869　愛知県名古屋市中川区荒子 2-128-3 TEL 052-364-0385　　FAX 052-364-0386
金 沢 営 業 所	〒920-0363　石川県金沢市古府町南 297 TEL 076-269-2426　　FAX 076-269-2436
大 阪 営 業 所	〒578-0956　大阪府東大阪市横枕西 6-23 TEL 072-960-7707　　FAX 072-960-7708
広 島 営 業 所	〒730-0844　広島県広島市中区舟入幸町 16-15 TEL 082-503-5900　　FAX 082-503-5901
福 岡 営 業 所	〒816-0912　福岡県大野城市御笠川 4-11-24 TEL 092-504-3246　　FAX 092-504-3256

サンコーテクノグループ
株式会社IKK

本　社／〒410-0001　静岡県沼津市足高 396-59
TEL 055-922-8811　FAX 055-922-2880

下記ホームページにて弊社最新情報をお届けしております。

http://www.diamond-ikk.com